

8月29日 生産性向上の取組に関する研修会

参加者 73名（うち障がいサービス 6名）

アンケート回収 66枚

問5. 「長野県介護・障がい福祉生産性向上総合相談センター」の事業についてご案内
させていただきましたが、今後利用をする予定がありますか。

ある	14
ない	7
検討する	40

スポット型支援	10
伴走支援	6
試用貸出	15
窓口での相談や情報共有	9
研修会参加	33

問6. 現在ご自身の事業所では生産性向上に関する取組をおこなっていますか。

行っている	24
行っていない	37

（取組済み）取組んでいらっしゃる内容はどのような事ですか。

1. 職場環境の整備	15
2. 業務の明確化と役割分担(1) 業務全体の流れの再構築	4
3. 業務の明確化と役割分担(2) テクノロジーの活用	16
4. 手順書の作成	6
5. 記録・報告様式の工夫	15
6. 情報共有の工夫	10
7. OJTの仕組みづくり	2
8. 理念・行動指針の徹底	2

取組を行う中で問題、課題となる事は何ですか。

- ・ フォローの時間を取れない
- ・ 残業の削減
- ・ 職員個々の意識の差
- ・ テクノロジー活用、選定、助成金の活用
- ・ 業務多忙の中、生産性向上のための業務が増えるという矛盾
- ・ 現状の改革への抵抗感
- ・ 高齢職員や理解が難しい職員への導入理解と活用がうまくいかない

- ・日々の業務の中忙しく新しい事への費用対効果が望めるか一歩出にくい
- ・使い方のわからない職員も少数いる
- ・見守りセンサーなど全床入れたが使いこなせていない
- ・進め方が正しいか不安である
- ・職員の意思統一、機器の料金の経営者側の理解、メンテナンス
- ・職員への周知、予算確保
- ・先に導入した機器（介護記録タブレット、インカム他）との連携とコスト
- ・デジタル技術の能力を効果的に、応用的に全スタッフが使いこなせるか
- ・年齢の高い方のテクノロジーの試用浸透が難しく時間がかかる

前のやり方が楽とテクノロジーへの苦手意識があると思います。

- ・全職員の活用、使用の定着（年齢層が幅広いため）

（取組を行っていない事業所）第一に取組みたい事項は何ですか。

1. 職場環境の整備	11
2. 業務の明確化と役割分担(1) 業務全体の流れの再構築	11
3. 業務の明確化と役割分担(2) テクノロジーの活用	11
4. 手順書の作成	1
5. 記録・報告様式の工夫	8
6. 情報共有の工夫	1
7. OJTの仕組みづくり	2
8. 理念・行動指針の徹底	3

